

にしとみおか・ながたけ2  
西富岡・長竹2遺跡

伊勢原市No.208

調査期間 2019年3月1日～2019年5月31日

所在地 伊勢原市西富岡

時代 近世、中世、奈良・平安、縄文

調査原因 一般国道246号(厚木秦野道路)  
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

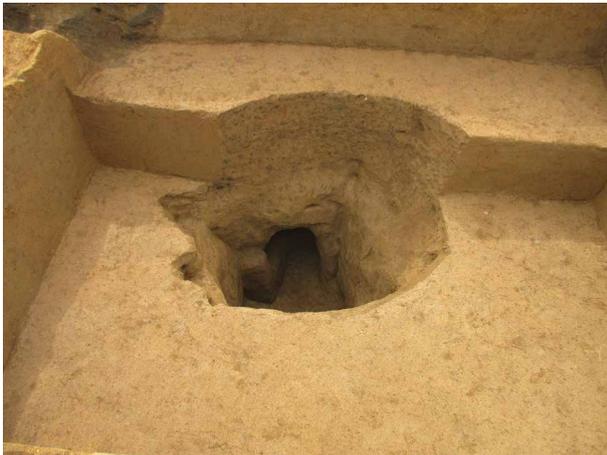
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅北西約3km  
の渋田川右岸



### 主な調査成果

長竹2遺跡は、後世の攪乱により関東ローム層上面まで削平された上段部分と、渋田川へ向かって傾斜する下段部分とに分かれています。上段部分からは近世の竪穴状遺構や土坑、中世の地下式坑、縄文時代の埋甕などが発見されました。下段部分からは奈良・平安時代の土坑や、L字の段切りにより平坦面を造りだし耕作地として利用していたと考えられる遺構も確認されました。また、縄文時代の土坑も発見されています。

今回発見された地下式坑は竪坑部分で、地下室は南東方向の調査区外(厚木秦野道路本線部分)に延びていました。今後実施する調査成果により遺構の様相が明らかになってくることが期待されます。



上段部分：地下式坑竪坑（中世）



下段部分：段切り状遺構（奈良・平安時代）